

### <定点把握感染症>

※表中の数値 上段:報告数 下段:定点当たり報告数

※定点当たり報告数が、▲:2週連続増加、△:今週増加、▼:2週連続減少、▽:今週減少

※◎:警報レベル

○:注意報レベル

疾患名	全国	山形県			村山地区			最上地区			置賜地区			庄内地区			累積(県)
	第11週	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	第11週	第12週	増減	
<b>インフルエンザ定点</b> (定点医療機関数)		(48)			(20)			(5)			(10)			(13)			
インフルエンザ	42764 8.65	677 ◎14.10	539 ◎11.23	▼	226 ◎11.30	175 8.75	▼	84 ○16.80	83 ○16.60	▼	189 ◎18.90	151 ◎15.10	▼	178 ◎13.69	130 ◎10.00	▼	14392
<b>小児科定点</b> (定点医療機関数)		(30)			(13)			(3)			(6)			(8)			
RSウイルス感染症	1392 0.44	4 0.13	9 0.30	△	2 0.15	1 0.08	▽	1 0.33		▽	1 0.17	8 1.33	△				144
咽頭結膜熱	946 0.30	10 0.33	6 0.20	▼	4 0.31		▼				4 0.67	5 0.83	▲	2 0.25	1 0.13	▽	189
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8485 2.69	128 4.27	110 3.67	▽	55 4.23	43 3.31	▽	3 1.00	3 1.00		48 ◎8.00	48 ◎8.00		22 2.75	16 2.00	▽	1608
感染性胃腸炎	15828 5.01	129 4.30	109 3.63	▼	48 3.69	32 2.46	▼	11 3.67	12 4.00	▲	28 4.67	24 4.00	▼	42 5.25	41 5.13	▽	1553
水痘	767 0.24	3 0.10	13 0.43	△		9 0.69	△				3 0.50	1 0.17	▼		3 0.38	△	161
手足口病	474 0.15	8 0.27	10 0.33	△	7 0.54	9 0.69	△				1 0.17	1 0.17					203
伝染性紅斑	196 0.06	4 0.13	4 0.13		1 0.08	2 0.15	△				3 0.50	2 0.33	▽				50
突発性発しん	1134 0.36	17 0.57	19 0.63	△	7 0.54	5 0.38	▽	2 0.67		▽	4 0.67	7 1.17	△	4 0.50	7 0.88	△	157
ヘルパンギーナ	42 0.01	4 0.13	2 0.07	▽	4 0.31	1 0.08	▽					1 0.17	△				24
流行性耳下腺炎	446 0.14	2 0.07	1 0.03	▼							1 0.17		▽	1 0.13	1 0.13		35
<b>眼科定点</b> (定点医療機関数)		(8)			(4)			(1)			(1)			(2)			
急性出血性結膜炎	15 0.02																
流行性角結膜炎	377 0.54																14
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)		(10)			(4)			(1)			(2)			(3)			
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	198 0.41		2 0.20	△		1 0.25	△								1 0.33	△	10
クラミジア肺炎	3 0.01																
マイコプラズマ肺炎	95 0.20	3 0.30	1 0.10	▽	3 0.75	1 0.25	▽										38
細菌性髄膜炎	4 0.01	1 0.10		▽										1 0.33		▽	4
無菌性髄膜炎	16 0.03																2

### <全数把握感染症>

疾患名	類型	報告数				備考
		村山	最上	置賜	庄内	
結核	患者				1	
デング熱	患者	1				感染推定地域: 国外
レジオネラ症	患者			1		
劇症型溶血性レンサ球菌感染症	患者	1				
百日咳	患者	1				小児。ワクチン接種歴: 4回。
侵襲性肺炎球菌感染症	患者				1	※第11週追加報告分。小児。ワクチン接種歴: なし。
破傷風	患者				1	※第3週追加報告分。ワクチン接種歴: 不明。

### <通信欄>

※トピックスで、インフルエンザ、水痘について掲載しています。

< 定点把握感染症 報告患者数 年齢別 >

インフルエンザ定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	
インフルエンザ		2	22	18	27	42	33	48	36	35	32	101	31	12	
	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳～									合計
	17	24	22	18	6	13									539
小児科定点	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10～14歳	15～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症		1	7			1									9
咽頭結膜熱		1			2	2	1								6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎			8	9	16	13	15	15	8	6	6	11	1	2	110
感染性胃腸炎		4	12	13	9	13	12	13	6	7	6	11		3	109
水痘			2				2	1		2	4	2			13
手足口病			4	2	1	1		2							10
伝染性紅斑							2	1		1					4
突発性発しん		8	9	2											19
ヘルパンギーナ			1			1									2
流行性耳下腺炎									1						1

< 平成30年2月 月報 >

2018年3月22日 発行

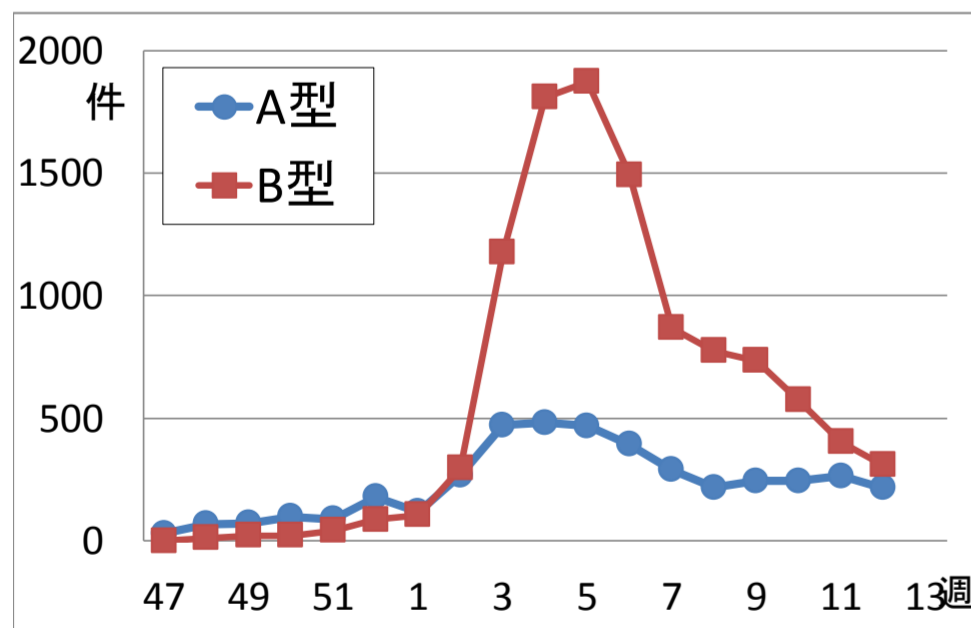
疾患名	山形県		村山地区		最上地区		置賜地区		庄内地区		累積(県) 1～2月
	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	1月	2月	
<b>STD定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
性器クラミジア感染症	報告数 19	19	5	9	9	7	1		4	3	38
	定点当り 1.90	1.90	1.25	2.25	9.00	7.00	0.50		1.33	1.00	
性器ヘルペスウイルス感染症	報告数 9	11	2	1		4	3	3	4	3	20
	定点当り 0.90	1.10	0.50	0.25		4.00	1.50	1.50	1.33	1.00	
尖圭コンジローマ	報告数 3	2	1	1					2	1	5
	定点当り 0.30	0.20	0.25	0.25					0.67	0.33	
淋菌感染症	報告数 3		2						1		3
	定点当り 0.30		0.50						0.33		
<b>基幹定点</b> (定点医療機関数)	(10)		(4)		(1)		(2)		(3)		
ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	報告数 3	6			1		2	3	3		9
	定点当り 0.30	0.60			1.00		1.00	1.00	1.00	1.00	
メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	報告数 20	13	6	5	2		3	2	9	6	33
	定点当り 2.00	1.30	1.50	1.25	2.00		1.50	1.00	3.00	2.00	
薬剤耐性緑膿菌感染症	報告数										
	定点当り										

< トピックス >

【インフルエンザ情報】

第12週の県全体の定点当たり報告数は11.23人で、警報レベルが継続しています。地区別では、置賜・庄内地区は警報レベル、最上地区は注意報レベルとなっています。

1 迅速診断キットによるインフルエンザウイルスの陽性件数(第12週)



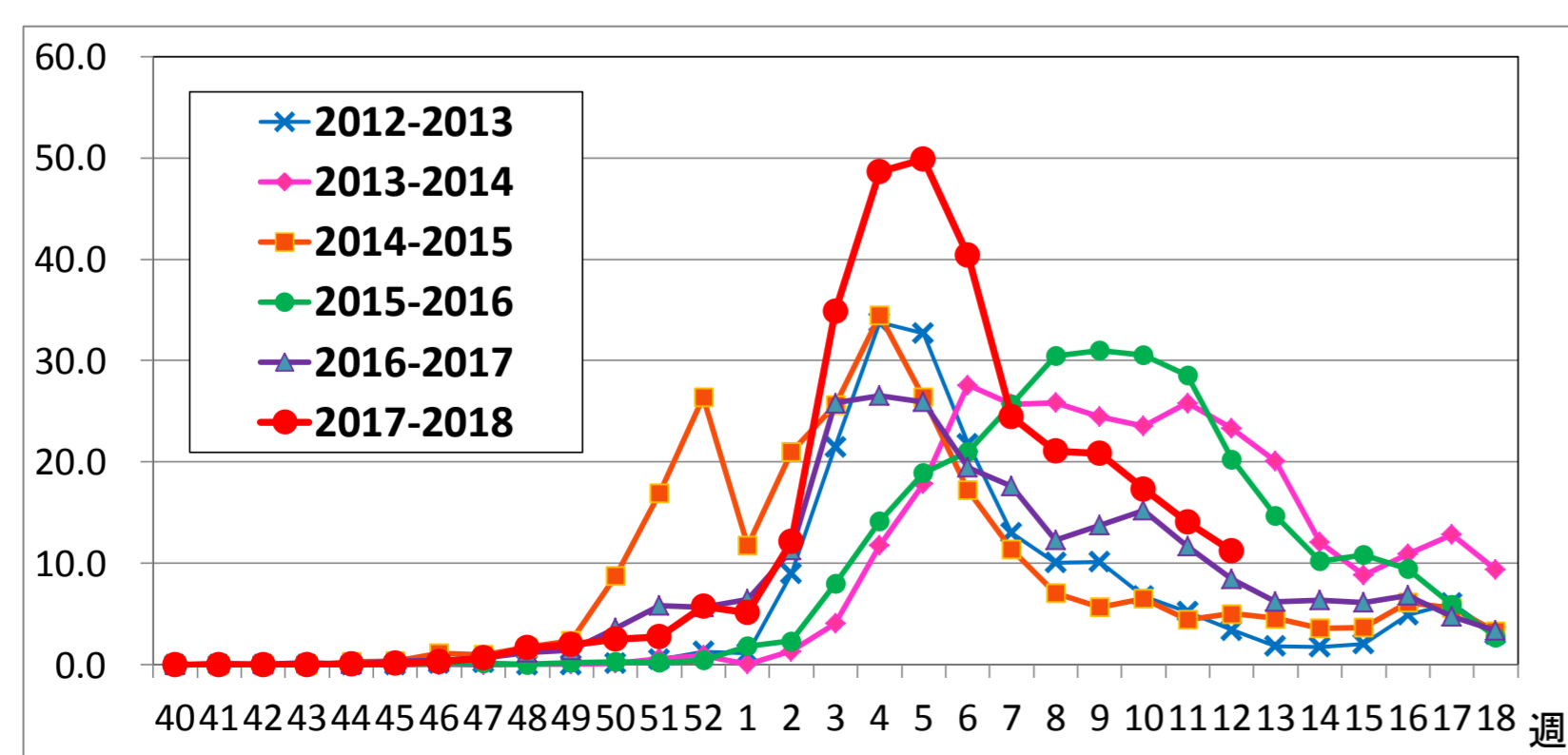
	A型	B型
村山	58	113
最上	22	62
置賜	80	71
庄内	57	64
計	217	310

※A・B重複感染: 1件、不明: 13件

2 集団発生状況 (県健康福祉企画課まとめ 第12週)

	村山	最上	置賜	庄内	合計
幼稚園・保育所	1		1	2	4
福祉施設				1	1
合計	1	0	1	3	5

3 定点あたり報告数の推移(過去5シーズンとの比較)



【水痘について】

《水痘とは》

水痘は、いわゆる「みずぼうそう」のことで、水痘帯状疱疹ウイルスに感染することによって起こります。感染力が非常に強く、空気感染、飛沫感染、接触感染によりひろがり、約2週間の潜伏期間の後、発疹が現れます。主に小児の病気で、9歳以下での発症が90%以上を占めるとわれています。

症状のうち、最も特徴的なものが全身性の発疹で、数日間にわたり次々と出現し、痒みを伴います。経過は一般的には軽症ですが、まれに熱性けいれん、肺炎を合併し、重症化することもあります。成人での水痘も稀にみられますが、成人が発症した場合、水痘そのものが重症化するリスクが高いといわれています。

《予防法》

予防に最も効果的なのが、水痘ワクチンの接種で、日本では2014年10月より定期接種が行われています。水痘ワクチン1回の接種により、重症の水痘をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症の水痘も含めて、その発症を予防できると考えられています。山形県では、近年報告数が減少傾向にあり、特に、定期接種開始以降、3歳以下の報告数が減少しています。

